

20cm バックロードホーン エンクロージャー組立キット



WP-ENFE20

組立説明書
Ver.1

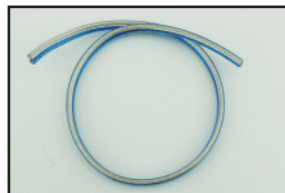
スピーカーユニットは
別売です
スピーカーユニット
取り付け穴径 185mm

推奨スピーカーユニット
FOSTEX FE203Σ-RE

“ものづくり” 支援で、共に未来へ
KYORITSU
共立電子産業株式会社

●このキットに含まれるパーツ

①板材 14 枚 (付属の板材図と照合してください)



②スピーカーケーブル
(1 本)



③スピーカー固定用
ネジ (4 本)



④スピーカー端子 (取付け用ネジ付属)
(1 個)

・スピーカー固定用のネジはスピーカー付属のネジではなく、当製品付属のネジをご使用ください。

下記は別途ご用意ください

・木工用接着剤



●必要な工具

- ・プラスチックドライバー
- ・はんだごて
- ・はんだごて台
- ・ハンダ
- ・ニッパー
- ・カッター
- ・ハタガネ (6 本～8 本)
- ・定規 (30cm)
- ・鉛筆 (シャーペン)

●主な仕様

- ・外形寸法 幅 250mm 高さ 900mm 奥行 450mm
- ・重量 12kg (スピーカー含まず)

●お断り

- ・本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様外觀等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本製品は組立キットまたは半完成品です。
- ・製作作業中の安全確保のため 説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用手順を守ってください。
- ・完成品でない商品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様 (組立作業) 自身の責任のもとでご使用ください。
- ・本製品は機器への組み込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。また本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。

販売元：共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 5-8-26
TEL06-6644-4447 FAX06-6644-4448

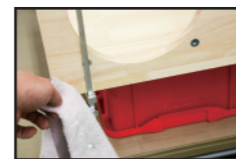
●組立かた

・この説明書は、組立手順の一例を記載しています。慣れておられる方は自分なりの順序で組立をいただいて結構です。添付の「構造図」を参考にしてください

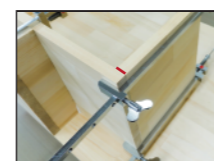
【1】すべての板を「構造図」を見ながら「仮置き」して位置関係を確認しておきます



接着する前の注意事項



・板材接着時に木工ボンドがはみ出た場合はぬれ雑巾などで拭き取っておきます



・板材の合わせる所の付け方は間違いやすいポイントです。構造図をよく見て落ち着いて作業を行ってください

・木工ボンドは完全に固まるまで 24 時間以上かかります。一度に全部組み立てるのではなく、少しずつ作業を分割して製作の方がしっかり固定が出来てきれいに出来上がります

【2】板⑬に板①を接着します



・板①のスピーカーを取り付ける板材は表裏があります。写真の金属部が多く見えている面を外側にして取付けていきます



・板①の端面にボンドを塗ります



・板①を板⑬にそっと乗せて軽く押さえます (ハタガネがある場合は使用してしっかり固定してください)
ボンドがはみ出た場合は濡れ雑巾などで拭き取っておきます

【3】板⑬に板⑥を接着します



・スピーカー端子用取付け丸穴位置はスピーカーに近い前面側にします
板⑥の板①・⑬に触れる端面にボンドを塗り接着します (ハタガネがある場合は使用して固定してください)
ボンドがはみ出た場合は濡れ雑巾などで拭き取っておきます

【4】板⑬・①に板⑪を接着します



・板⑪を板①・⑬に触れる端面にボンドを塗り接着します (ハタガネがある場合は使用してしっかり固定してください)
ボンドがはみ出た場合は濡れ雑巾などで拭き取っておきます

【5】板②に板⑫を接着します



・板②の端面にボンドを塗り板②と板⑫を接着します



【6】板②⑫を取り付けする場所を計測&マーキング



・構造図通りに天面から 220mm の所に線を書きます

【7】板⑬に前記【5】で作成した板のブロックを接着します



・板⑪と板②⑫のは端面にボンドを塗ります
【6】でマーキングした場所にあわせて板②⑫を接着します

【8】板⑬に板③を接着します



・板③の板②・⑬に触れる端面にボンドを塗り接着します (ハタガネがある場合は使用してしっかり固定してください)
ボンドがはみ出た場合は濡れ雑巾などで拭き取っておきます

【9】板④を取り付けする場所を計測&マーキング



・構造図通りに板①から 135mm の場所に線を書きます

【10】板⑬に板④を接着します



・板④を板⑬に触れる端面にボンドを塗り接着します

【11】板⑬に⑤を接着します



・板⑤を板⑬⑬に触れる端面にボンドを塗り接着します

【12】板⑬に板⑨を接着します



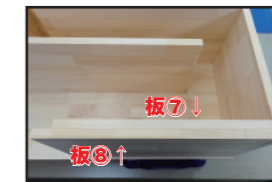
・板⑨を板⑬に触れる端面にボンドを塗り接着します (ハタガネがある場合は使用してしっかり固定してください)
ボンドがはみ出た場合は濡れ雑巾などで拭き取っておきます

【13】板⑧の側面を計測&マーキング



・板⑧の側面 5cm の所に線を書きます

【14】板⑦・⑧を天面に合わせて置きます



・天板の端に合わせて板⑦⑧を重ねて置きます (まだ接着しません)

【15】板⑦の内側部分をマーキング



・板⑦⑧を置いた状態で板⑦の内側をマーキングします

【16】板⑬に板⑦を接着します



- 板⑦の板⑥・⑬に触れる端面にボンドを塗り接着します

【17】板⑬に板⑧を接着します



- 板⑧の板⑦・⑬に触れる端面にボンドを塗り接着します
(板⑬でマーキングした場所にあわせて板⑧を接着します)

【18】板⑩を接着します



- 構造図には上下共に 7mm と記載されていますが製作精度により前後する可能性があります
上下共に同じぐらいの幅になるよう調整して接着します

【19】間にボンドを入れます



- 板⑩の上下共に空気モレが発生しないようボンドを塗りこんでおきます。木工パテを充填しておけば完璧です

【20】スピーカー端子を取り付けます



- 「スピーカーケーブル」の片方を約 10cm 割いて (2 本に分けて) 先端の被覆を約 5-10mm 剥がします



- 導線部分に予備ハンダ (はんだめっき) をしておきます



- スピーカー端子のラグ板にも予備ハンダをしておきます

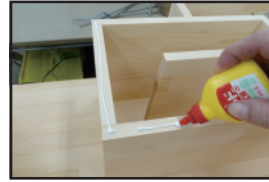


- エンクロージャー内部からスピーカーケーブルを通してラグ板にハンダ付けします

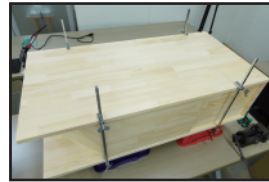
(黒)色の端子には水色のケーブルを(赤)色の端子には透明のケーブルを接続します

ハンダ付けが完了したら付属のネジで端子を固定します

【21】板⑭を接着します



- エンクロージャー内部に残っているゴミを掃除機でキレイに除去しておきます
すべての板の端面にボンドを塗ります



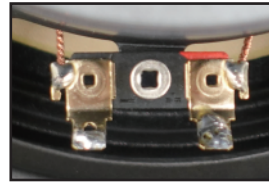
- 板⑭をそっと乗せ、手で押さえてボンドをなじませた後「ハタガネ」で軽く締め付けます
ハタガネの数が足りないときは「水の入ったポリタンク」などで重石にして圧力をかけます

この状態でボンドの色が白色⇒透明になるまで乾燥させます。

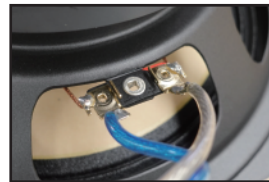
【22】スピーカーユニットを取付けます



- 「スピーカーケーブル」の片方を約 10cm 割いて (2 本に分けて) 先端の被覆を約 5mm 剥がします
• 導線部分に予備ハンダ (はんだめっき) をしておきます



- スピーカーの端子に予備ハンダを行っておきます



- スピーカー付属のパッキンを通してからスピーカーユニットの端子にハンダ付けします
• **スピーカーユニットの端子には極性があります**
(+)の端子には透明のケーブルを
(-)の端子には水色のケーブルを接続します



- スピーカーユニットをネジ止めします

パッキンの穴位置とスピーカーユニットの穴位置をあわせて、ネジで固定します
(スピーカー付属のネジでは無くこの製品に付属しているネジをご使用ください)

ネジは写真のように**対角線の順**に少しずつ締め付けます

●これで完成です



- 各部位が正確に接着されていればガタつきは発生しませんが、やむを得ずガタつきがある場合は 80 番～100 番くらいのサンドペーパーで底面を削って段差を修正します
修正しきれないときは接地面との間にコルクシートなどを挟んで補正してください

- 音質調整する場合は内部に吸音材などを入れてください

ワンポイントアドバイス

組み立てた直後は低音が過大になったり高音がキツく聞こえることがあります。
エージング (慣らし運転) が進むと改善されます
バックロードホーンは設置した床面もホーンの延長として設計されていますので、硬質な床面に直接設置して使用されることをおすすめします